

農作物の鮮度保持へ向けた 生長制御因子ガス徐放固体材料の開発



代表機関：国立大学法人 北海道大学
実施年度：2025年度（フェーズ1）
キーワード：農作物、鮮度制御、ガス徐放

研究代表者：野呂真一郎

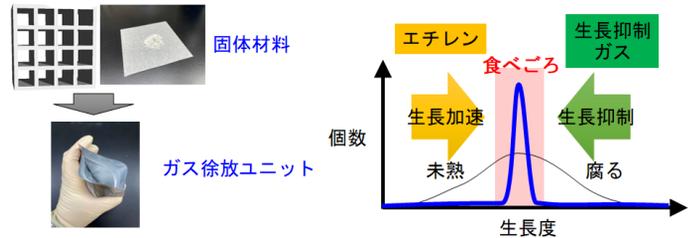
食料不足は世界的に深刻化しています。本研究では、農作物の廃棄量削減を目指して、だれでも安全簡便に農作物の生長度を制御できる生長制御因子ガス徐放材料を開発します。独自の技術シーズをもとに2025年度にPoCを実施し、2026年度の起業を目指します。

背景・目的

食料不足は深刻な問題ですが、収穫したにもかかわらず廃棄される農作物（食品ロスとしてカウントされず）が存在し、その廃棄量は食品ロス発生量の約3割にもなります。本研究では、農家や小売業者が安全、簡便に農作物の生長を制御するための生長制御因子ガス（エチレン、1-メチルシクロプロペン（1-MCP）その他）徐放材料を開発し、農作物の廃棄量削減を目指します。

目標

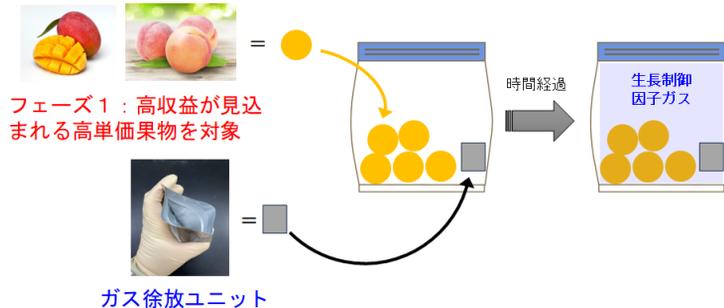
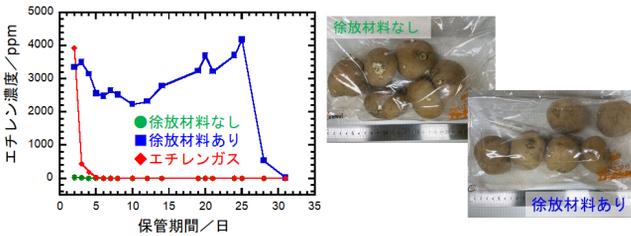
生長制御因子ガス（エチレン、1-メチルシクロプロペン（1-MCP）その他）徐放ユニットを用いた農作物の生長度制御



研究内容

以下の独自のガス徐放技術シーズを基に、右記の研究を実施する。

- ・研究項目1：生長抑制ガス徐放ユニットを用いた高単価果物の生長制御の検証
- ・研究項目2：エチレン徐放ユニットを用いた高単価果物の生長、食味制御の検証



事業化のマイルストーン

2025年度	2026年度	2027年度
PoC実施	製品化	量産販売

<代表機関概要> 国立大学法人 北海道大学

■ HP： <https://www.hokudai.ac.jp/>

■ 所在地：北海道札幌市北区北8条西5丁目

■ 連絡先： noro[アット]ees.hokudai.ac.jp 「[アット]を@に置き換えてください。」 令和7年4月1日時点